

丹波「学校を核とした地域づくり」プロジェクト

「図書館の可能性を考える交流会」

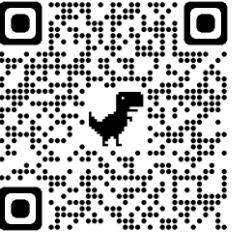
学校図書館の捉えなおし

～未来を生きる子どもたちのための学校図書館とは～

20240224

高森北小学校・高森町子ども読書支援センター

司書 宮澤優子



宮澤優子と申します

- ・ 公4 + (小2 + 大4 + 兼5 + 小1 + 兼4) = 20
- ・ 高森北小学校・学校司書 + 高森町子ども読書支援センター

<https://www.town.nagano-takamori.lg.jp/soshiki/12/5/5639.html>

<https://www.facebook.com/mameonokai>

- ・ 「LRG」20号「司書名鑑」
- ・ Google認定教育者Lev.1・2
- ・ GEG Minami Shinshu共同リーダー
- ・ 教育著作権フォーラム初中等WG
- ・ 日本デジタル・シティズンシップ教育研究会専門委員
- ・ 農家のお母ちゃん



学校図書館に行かれたのは

直近でいつですか？

あなたの知っている学校図書館は 本当に「学校図書館」なのか？

あなたの知っている学校図書館は

「いつ」の学校図書館ですか？

「機能している」学校図書館でしたか？

「今」の教育観に合致する学校図書館ですか？

本日の課題設定

今（＝GIGAスクール時代）の学校図書館の
スタンダードを知り、
未来を生きる子どもたちのための
学校図書館の在り方について考える

①学校図書館の機能と GIGAスクール

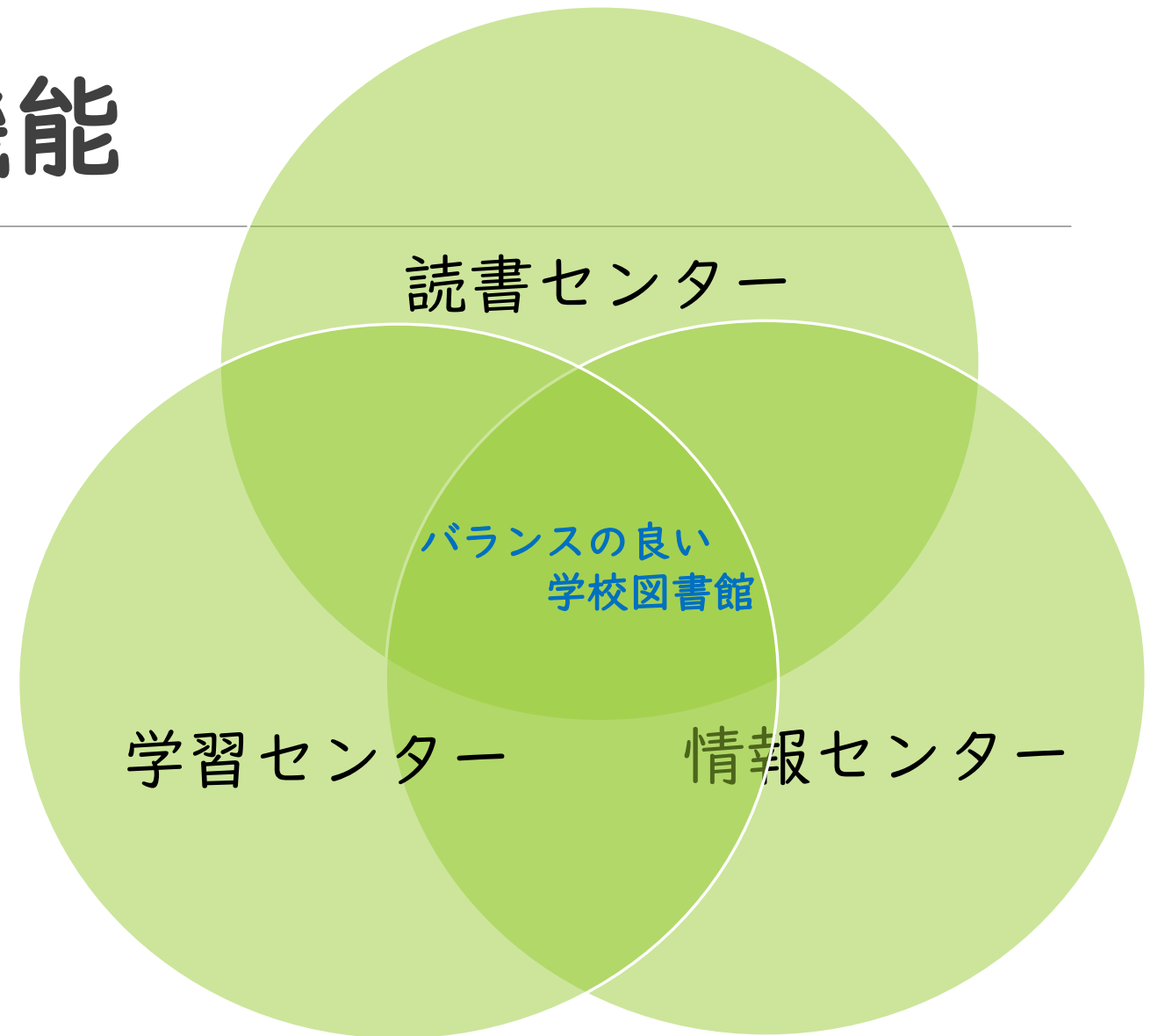
本来の学校図書館の姿を捉える

学校図書館の機能

学校図書館とは？

「小学校、中学校及び高等学校において、図書、視覚聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料を収集し、整理し、及び保存し、これを見童又は生徒及び教員の利用に供することによつて、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、見童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校の設備」

(学校図書館法第二条より抜粋)



読書センターとは？

文部科学省子どもの読書サポーターズ会議の「これからの学校図書館の活用の在り方等について」より

学校図書館は、児童生徒の創造力を培い、学習に対する興味・関心等を呼び起こし、豊かな心をはぐくむ、**自由な読書活動**や**読書指導の場**である「読書センター」としての機能を果たす。

～ 学校教育の一環として、すべての子どもに、**本を選んで読む経験**、**読書に親しむきっかけ**を与える。

～ 子どもたちが、自由に好きな本を選び、静かに読みふける**場を提供**したり、様々な本を**紹介**して、読書の**楽しさ**を伝える。

学習・情報センターとは？

文部科学省子どもの読書サポーターズ会議の「これからの学校図書館の活用の在り方等について」より

学校図書館は、児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成して、教育課程の展開に寄与する「学習・情報センター」としての機能を果たす。

～図書室で、図書館資料を使って授業を行うなど、教科等の日常的な指導において活用される。

～教室での授業で学んだことを確かめ、広げ、深める、資料を集めて、読み取り、自分の考えをまとめて発表するなど、児童生徒の主体的な学習活動を支援する。

～利用指導等の取組を通じ、情報の探し方・資料の使い方を教える。

～児童生徒が学習に使用する資料や、児童生徒による学習の成果物などを蓄積し、活用できるようにする。

「本」にとらわれない学校図書館

～広い視野・幅広い知識・柔軟な思考～

学校図書館とは
社会に存在する

もはや紙の本だけで
情報がとれる時代
ではない

「情報」や「技術」に

「いつでも」「自由」に

アクセスできる場所

「制限」された環境では
活動も「制限」される

教育課程の展開に寄与するために

教育活動

学校図書館機能

=読書センター、学習センター、情報センター

公共図書館機能

=フルスペックの（児童サービスに限定しない）図書館サービス

GIGAスクール構想

GIGAスクール

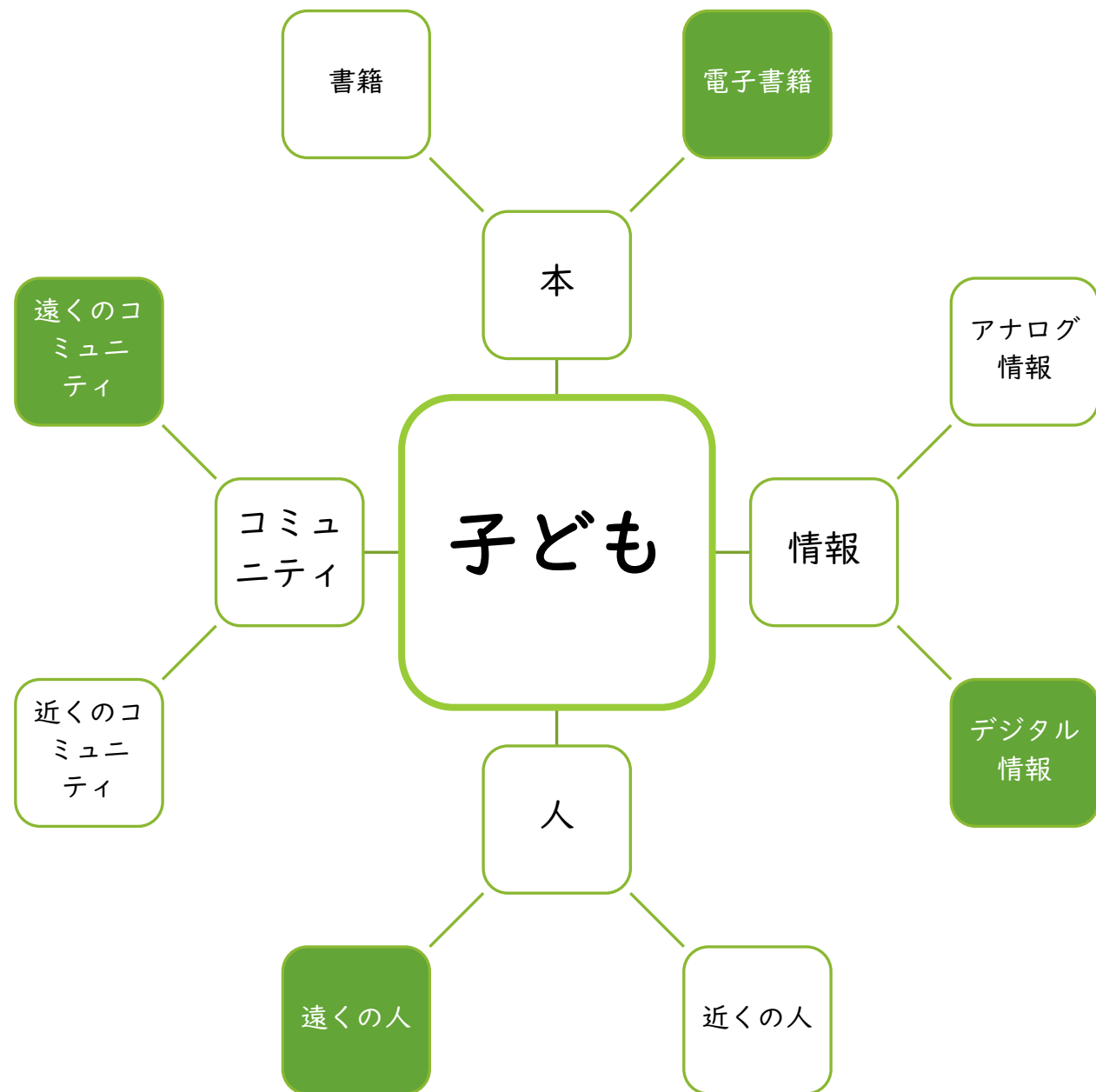
一人一台端末

高速大容量回線

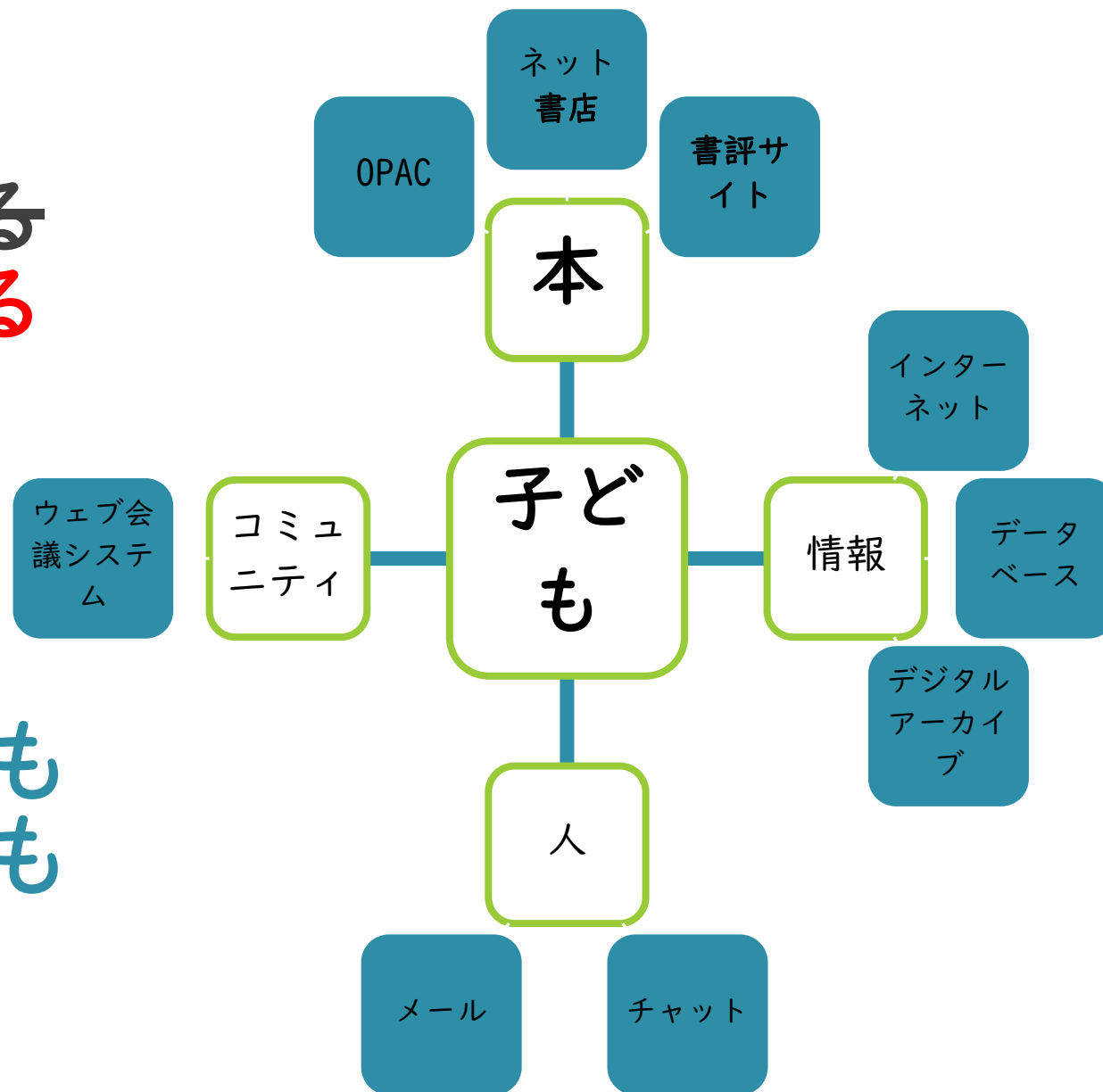
クラウド

GIGAスクールで
「つなぐもの」がかわる
ふえる

アナログもデジタルも
リアルもバーチャルも



GIGAスクールで
「つなぎかた」がかわる
ふえる



アナログもデジタルも
リアルもバーチャルも

さて、こんな未来があるようです

子どもたちと

インターネット世界やデジタルとの関わり

切り離せるのか？

今の「社会」が無理ならば、
無理でしょう

切り離したらどうなるか？

無防備なまま放りだしたらどうなるか？

すでに様々な課題がある

真剣に考えよう！

たとえばこれに対応できるのか？①

- ・ フェイクニュースあふれる世界

事実と異なる報道

インターネット検索サイトなどで利用者が欲しい情報に寄せていくアルゴリズムにより、自分が欲している情報「しか」見えない状態

- ・ フィルターバブルで膜が張られた世界

- ・ エコーチェンバー現象による誤解

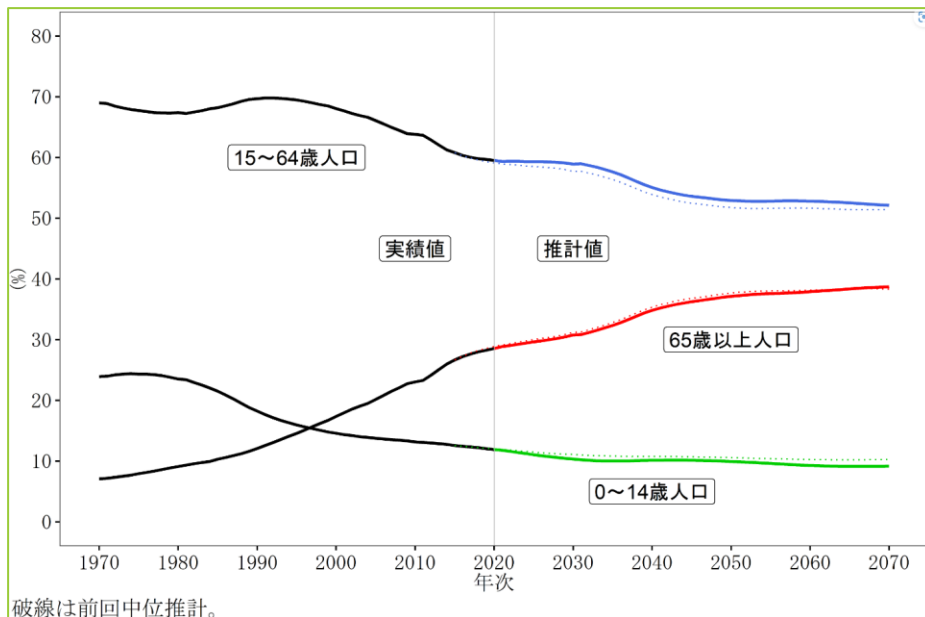
自分と同じ意見・思想を持つ人々で構成された場において、自分の意見・思想が肯定されることにより、本来の姿とは関係なくそれが正解であるかの如く見える現象

誰も守ってくれない世界

(学校でも・家でも・社会でも)

たとえばこれに対応できるのか？②

- ・ 生成AIなどの新しい技術
- ・ 少子高齢化人口減少による社会構造の変化



予測できない未来

(新しい技術・想定していない事態)

もはや
「デジタル資料を扱わない」
という選択はできない

大前提としてデジタルを「前向きに活用」という姿勢

②学校図書館の現状の共有

「図書館」と言い切れる施設であるのか？という問い

学校図書館の抱える問題

物が無い

量的にも質的にも
使える

- ・ 資料
- ・ 予算

基本機能を支えるための

人がいない

基本機能まわせる

- ・ 司書
- ・ 司書教諭

時間のある

場がない

- ・ 時間
- ・ 機会

人と物がそろった

物が無い

「2023年度学校図書館整備施策に関するアンケート」 全国図書館協議会(SLA)2023/6

小学校 約**48.4**万円

中学校 約**65.1**万円

「2023年度学校図書館調査・2022年度の平均図書購入費」 全国図書館協議会(SLA)

小学校 約**46.8**万円

中学校 約**65.7**万円

これは多いのか？少ないのか？

令和6年度 教科書が変わります

光村図書「国語」

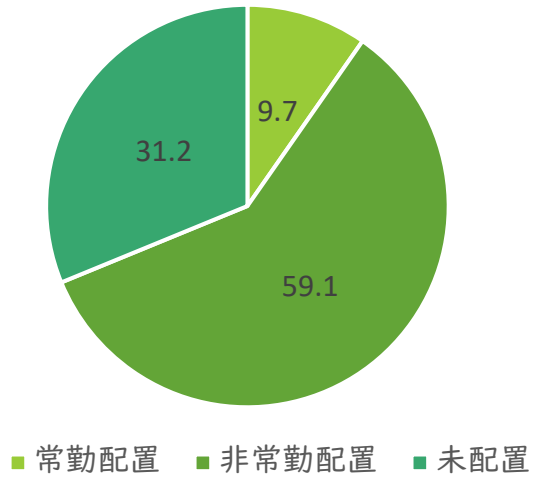
教材末掲載資料 ￥529451 + 巻末付録掲載資料 ￥427669

合計 ￥957120

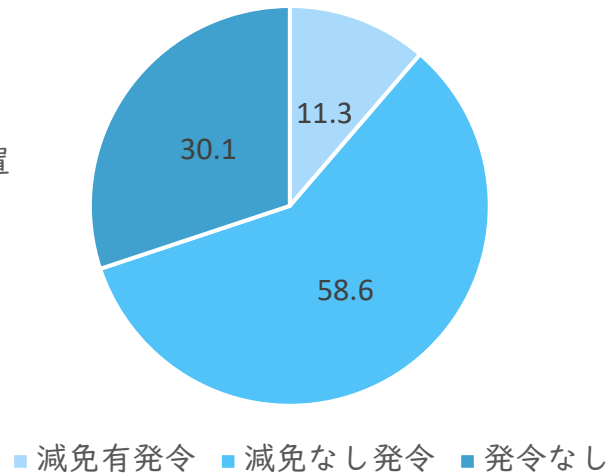
- ・ 半分入れ替わるとして約50万
- ・ 国語科だけの金額

人がいない

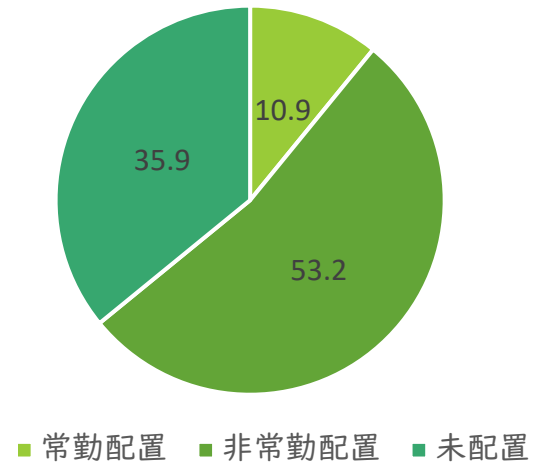
小学校司書配置率



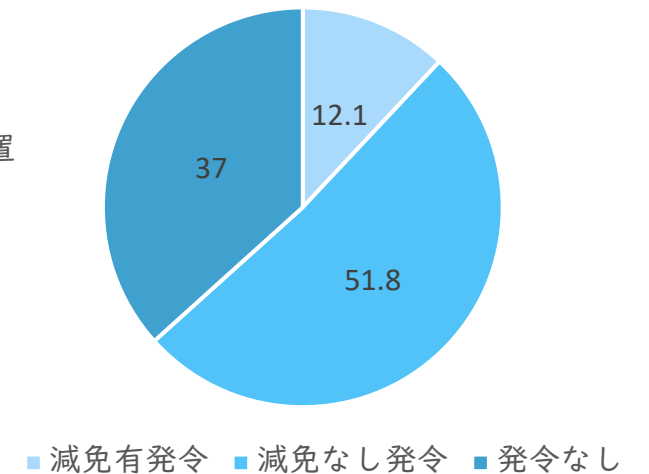
小学校司書教諭発令率



中学校司書配置率



中学校司書教諭発令率



司書教諭と学校司書

司書教諭

図書館や
情報を活用
した授業

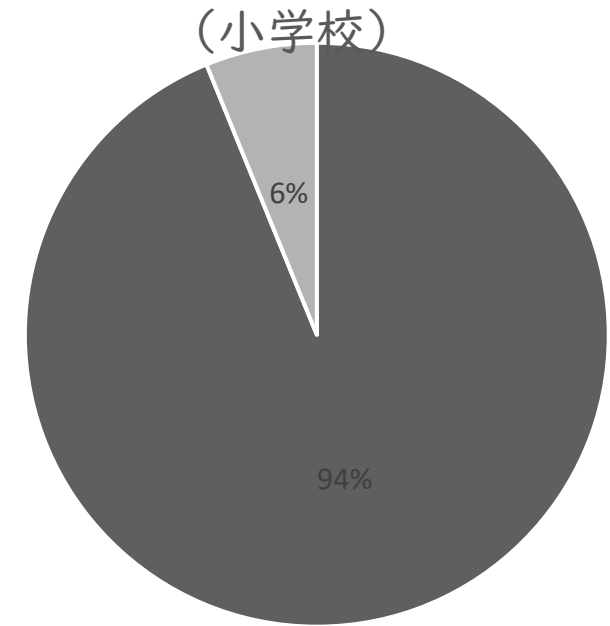
学校司書

教育活動に
資せる学校
図書館運営

場がない

学校には、学校図書館を設けなければならない。（学校図書館法第三条）

授業日数のうち開館日の割合



■ 開館 ■ 閉館

③ー1 機能している学校図書館の姿 読書センター編

まずは

～そもそもの読書センターの読書支援と、GIGAスクール

そもそも読書センターとは？

みなさんが知っている「読書センター」機能と、合致しますか？

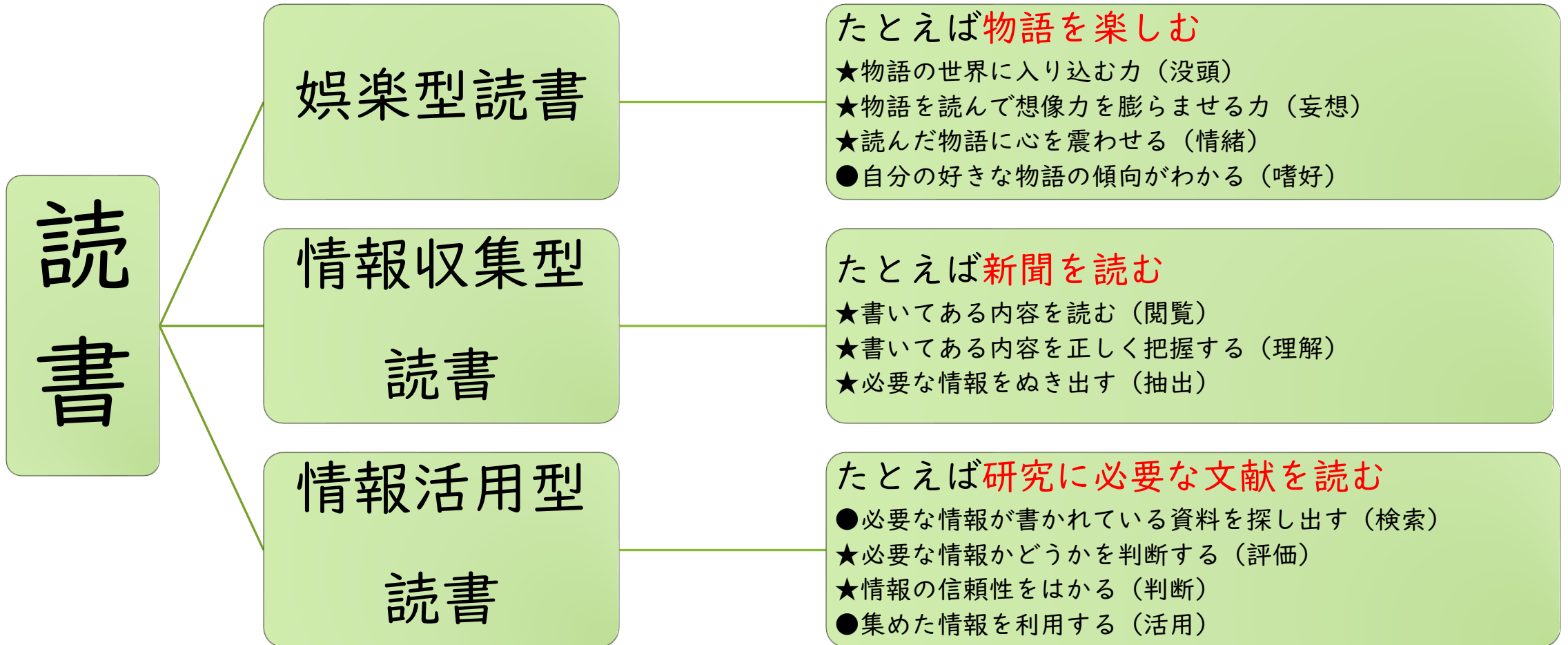
読書とは？

「広辞苑」より

「読書」 = 書物を読むこと。

「書物」 = 文字や図画などを書き、または印刷して一冊に綴じたもの。本。書籍。図書。典籍。

はばひろい「読書」の捉え



★＝テキストに向き合う段階でのスキル

●＝テキストとの接点に関するスキル

本を読み、豊かな心を育む 子どもたちとは？

読みたい
と思う

読もう
と思う

読む

読める

読んで
心が
震える

読んだ
刺激を
糧にする

段階をあげるための手立て

内発的エネルギー
と
外発的エネルギー

読書センターに必要な二つの観点

十分なスキル = 子どもたちに必要なもの

十分な環境 = 学校図書館に必要なもの

学習・情報センターにもこの二つの観点が必要

読書センターとしての読書支援

読書 「案内」

読書 「指導」

読書「案内」とは？

利用者が必要とする資料を選択・入手する際に、図書館員が支援をすること。読書案内は利用者からの要求を待つことなく、新着図書や特定のテーマに関する書誌や資料リストなどを作成することで行われる。これらの書誌や資料リストを読書案内と呼ぶこともある。

出典：「図書館情報学用語辞典 第5版」（日本図書館情報学会用語辞典編集委員会 編 日本図書館情報学会 2013）

読書案内

接触型アプローチと非接触型アプローチ

- ・ブックトーク
- ・読み聞かせ
- ・ビブリオバトル
- ・手渡し
- ・レファレンス
- ・直接選書
- ・カウンターワーク

- ・掲示
- ・テーマ展示
- ・ブックリスト
- ・パスファインダー
- ・図書館だより
- ・図書館HP

様々なバランスの中で選択する

- ・ 目的
- ・ 効果
- ・ 継続性 ⇔ 景色化
- ・ マンパワー
- ・ 場や機会

- ・ プレッシャー
- ・ 信頼関係
- ・ 動と静
- ・ 主体性
- ・ 学校図書館 **機能横断**

読書「指導」とは？

子どもの発達に応じて、文字を読むだけでなく、適切な読書への動機付けを行って、文章を鑑賞し読書能力を高め、それによって自己の生活を充実させ、ひいては子どもの人格を望ましい方向へ導くとともに社会に適用していく**能力を身に付けさせる**こと。

出典：「図書館情報学用語辞典 第5版」（日本図書館情報学会用語辞典編集委員会 編 日本図書館情報学会 2013）

読書に必要なスキルの ピックアップと指導

子どもたちの
読書行動は
それほど
単純ではない

読書のための「スキル」がなければ 子どもたちは「読めない」

読書に必要なスキル① 読解力

- ・ 識字
- ・ 語彙
- ・ 意味をとらえる

国語科の領域？

読書に必要なスキル② 嗜好把握

- ・ 自分の趣味嗜好の把握
- ・ 無自覚な趣味嗜好への寛容度

読書に必要なスキル③ 選書力

- ・ 本のスペック (表紙、フォント、ページ数等) 判定
- ・ 自分に合った本を選び取る
テクニック (著者で選ぶ、叢書で、ジャンルで)

読書に必要なスキル④ 意欲

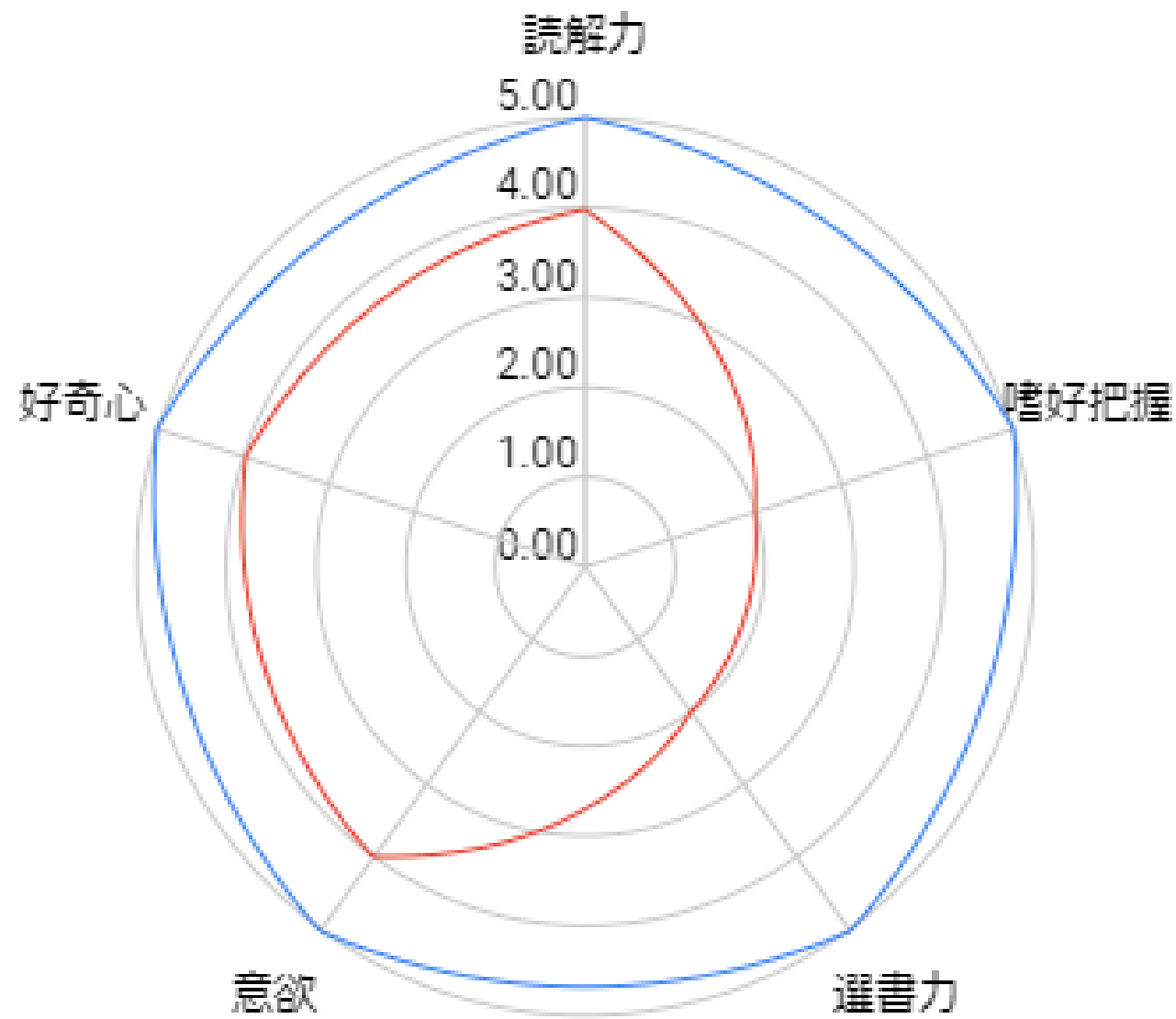
- ・ 集中力
- ・ 継続力
- ・ 知識欲

読書に必要なスキル⑤ 好奇心

- ・ 「次に何が起きるの？」
- ・ 「これってどういうこと？」



— 理想 — 實際



読書支援の観点でとらえる、 子どもの姿

- A : 年齢相応以上の内容の本を読む力があり、それを読むことができる子
- B : 年齢相応の内容の本を読む力があり、それを読むことができる子
- B' : // しかしそれを読まない、読めない子
- C : 年齢相応の内容の本を読む力がなく、ただし読書への意欲がある子
- C' : // しかも読書への意欲も低い子
- D : 読み物への関心が薄く、図鑑などへの関心が高い子
- D' : ノンフィクションには興味があるが、フィクションには興味がない子
- E : 読書に没頭できない子
- F : 読書全般への興味関心が薄い子
- F' : 本との接触が絶対量として不足している子

学校司書による読書指導の一例

読書という視点でとらえる、 子どもの姿 A群

A : 年齢相応以上の内容の本を読む力があり、それを読むことができる子

- ・自分で読書傾向を探れる児童が多く、その分ジャンルが固定する傾向→さまざまな分野の本を提示し、興味の幅を広げていけるような案内や指導
- ・好きなジャンルの本の新刊情報や出版情報に敏感→情報面での支援及びリクエスト対応などによる支援
- ・学校図書館だけでは手に入らないもの、特に一般書への接読の方法を案内し、かつそれを学校図書館で利用できる環境の整備

読書という視点でとらえる、 子どもの姿 B群

B : 年齢相応の内容の本を読む力があり、それを読むことができる子

B' : # しかしそれを読まない、読めない子

- ・読書をするときの目安にできるよう、自分の読書力と読書傾向と一緒に探る→読書の安定化を図り、読書への興味を継続させる。
- ・B'群に関しては、読まない理由、または読めない理由を探る
- ・「読まない」は意欲であり、強制することで読書離れが起きないように注意
- ・「読めない」=時間がない、好きな本が学校図書館にない(≠能力的な問題ではない)→対策
- ・読むための意義を見いだせない→確実に楽しさを味わえる本を手渡し、読書の喜びを体験、楽しむこと=意義とできるとよい

読書という視点でとらえる、 子どもの姿から C群

C : 年齢相応の内容の本を読む力がなく、ただし読書への意欲がある子

C' : # しかも読書への意欲も低い子

- ・現在の読書力相応の本を提示、段階を過ぎて読書力を引き上げる本を提示
- ・極端に読書力の低い児童に対しては、読書力に合う本を借りることがプライドにかかわる場合もある→本の体裁と内容をよく吟味
- ・自力で読まなくても、読んでもらう、聞かせてもらう、という選択肢があることを提示
- ・C'群については、とにかく「今」楽しいと思える本に出会うことが第一段階
- ・ジャンル、レベルを限定せず提示し、同時に本人の興味を広く探ることで、手渡せる本を見つける「ヒント」を一つでも多く入手

読書という視点でとらえる、 子どもの姿から D群

D : 読み物への関心が薄く、図鑑などへの関心が高い子

D' : ノンフィクションには興味があるが、フィクションには興味がない子

- ・図鑑や写真集などに興味があれば、その深掘りがテキストの読書につながる可能性が高い
- ・特に強く関心を持つジャンルを自分で見つけるように指導し、強く関心のある狭い分野を特定するの一手→そこを切り口にした読み物の案内
- ・専門性が高くなるに従い、学校図書館に蔵書がない場合が多くなる→公共図書館の蔵書や、レファレンスサービスを利用することで、情報センターとしてのサービスをまず提供し、そこから読書センターとしての利用者へと転換が図れるような支援
- ・D'群については、読書案内する側は必ず読書の捉えを広く持ち嗜好にあったものを提示→同時に無自覚な嗜好の認知につながる可能性を探る

読書という視点でとらえる、 子どもの姿から E群

E : 読書に没頭できない子

- ・あらゆる可能性を探るためにはまずは信頼関係、行動観察
- ・特性に合わせた支援
- ・気づかされていない読書へのバリア(ディスレクシア、LDなど)
- ・人間関係や適応などによる「場」への不安に対する場の担保
- ・「読めないときは、読まなくてもいい」

読書という視点でとらえる、 子どもの姿から F群

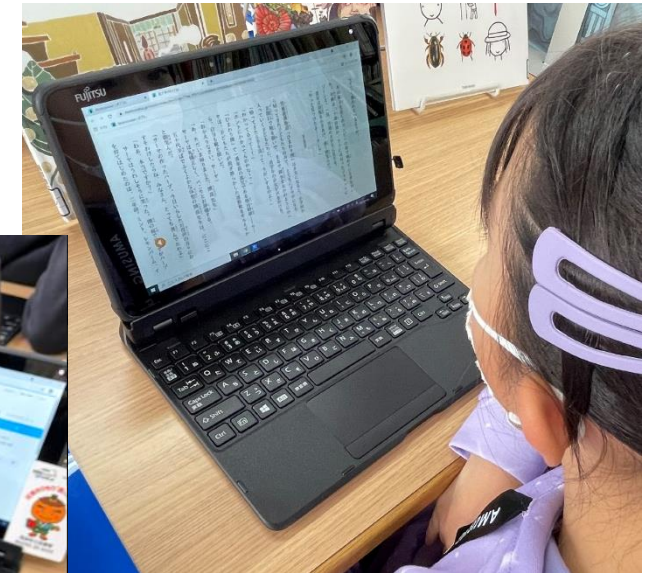
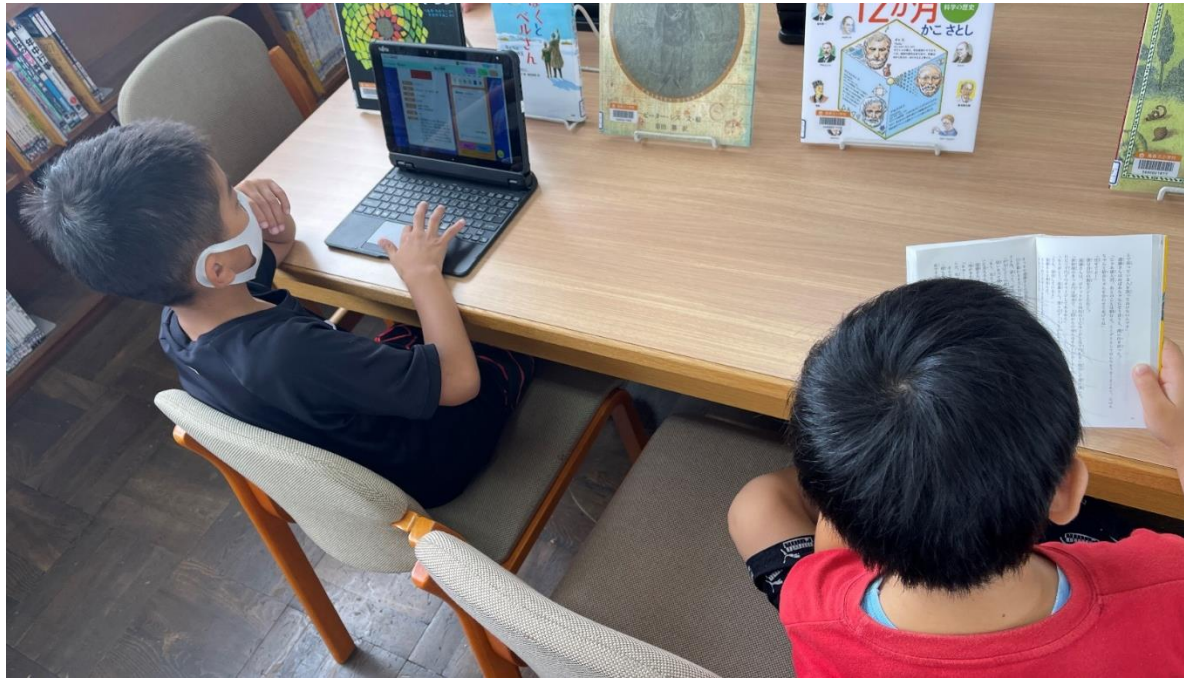
F : 読書全般への興味関心が薄い子

F' : 本との接触が絶対量として不足している子

- ・強制的な読書、本の貸出が逆効果になる場合も→本とのかかわりの中で一番負担が少ないものを探り、そこからアプローチ
- ・図書館滞りの快適性をまず優先、図書館へ来ること、本を手にするこへの嫌悪感を増幅させない
- ・F'群については、身近に本と接触できるポイントを設定
- ・場、機会、時間等の意識的な設定→生活の中に読書を存在させる
- ・本がない環境を後ろめたきにつなげないように注意
- ・どしゃかんだより等を通じた家庭への支援
- ・ブックマルシェ

GIGAスクール時代の読書センター

電子書籍も日常的に読む「本」



「本」を紹介する姿



「高森ほんともWeb-Library」 2020年6月2日稼働

(2023年3月末をもってデジとしょ信州へ移行)



1タイトル
50アカウント
同時アクセス可能

「デジとしょ信州」 2022年8月5日稼働



電子書籍化した郷土資料

中学校の総合学習での利用実績で
電子化の優先順位を決定



集団登録＋ワークショップ＝日常化

公共図書館の

利用登録

- ・ 移動図書館車利用のための利用登録（入学時）
- ・ 保護者通知と申込書の一斉配布
- ・ 回収と利用カード配布（学校経由）

センター主導

集団登録スキーム

- ・ 保護者通知
- ・ IDの集団発行
- ・ 配布（学校経由）

ワーク ショップ

- ・ ログイン
- ・ ID管理
- ・ 利用体験
- ・ 定期的な利用

あります！
つかえます！
だけでは、日常化されない＝使われない！

様々なサービス編

本を探そう！

～ほしい本を確実に手に入れるために～

さっそく本を探してみよう！②

そもそも本を売っているんだから！

書店のホームページ

AMAZON honto 読本ナビ

- 探せたら、入手できる保証！
- ・学校図書館のカウンターで
 - ・予約、リクエスト
 - ・相互貸借
 - ・ネット予約

さっそく本を探してみよう！①

そもそも、売っているのだから！

出版各社のホームページ

紀伊館書店 MARUZEN (丸善) 三省堂書店

さっそく本を探してみよう！④

本好きが集まっているに違いない！

書評サイト

講談社BOOK倶楽部 集英社BOOKS ポプラ社

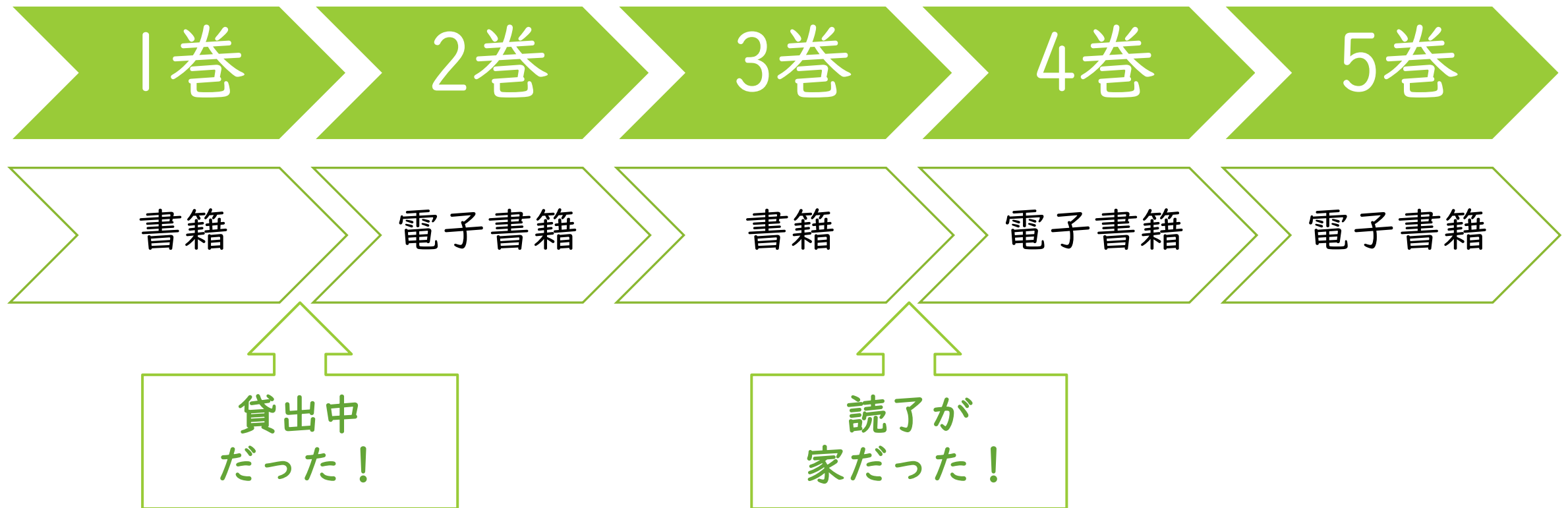
さっそく本を探してみよう！③

そもそもオンラインで本を売っているんだから！

オンライン書店

ブックログ 読書メーター HONZ

電子書籍図書館の活用による 読書の中断・分断の回避

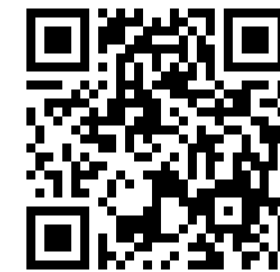


GIGAスクールが、

子どもたちの読書的手段と

本との出会いの選択肢を

増やすのだという意識



ミニワークショップ

今、この場で図書館に「行く」

東京学芸大学デジタル書架ギャラリー（附属小金井小学校）

とはいえ、紙の本の良さも
子どもたちはよく知っている



③ー2

機能している学校図書館の姿

学習センター編

学習センターのスタンダード

なんでも調べられる、
上質で、十分な量の、
ありとあらゆる媒体による
資料と情報が
迅速に、いつでも、入手できる環境

ミニワークショップ

今、この場で「調べる」

国立文化財機構奈良文化財研究所「全国遺跡発掘総覧」



学習センターとしてのはじめの一步

- ★必要な情報や資料の「情報」を
的確に「伝える」or「捉える」
- ★紙の資料とデジタル資料、
提供できるものをすべて提供する姿勢
- ★紙の情報とデジタルの情報それぞれのメリットを
きちんと活かすための活用の提案を図書館から

③ー3

機能している学校図書館の姿
情報センター編

～GIGAスクールによる各機能のレベルアップ～

情報センターのスタンダード

なんでも調べられる、
アナログにもデジタルにも対応した
情報活用能力を授け、
自分の課題を自分で解決していける
力を育てる

情報活用能力年間指導計画

指導用教材データセット

| 3年生 | | 情報センター | | | | |
|-----|---|--|---|---------------------|----------------|--|
| 巻 | 月 | 単元名 | 教材番号 | 教材タイトルとリンク | 学習カード | |
| 上 | 4 | よく聞いて、じこしょうかい どきん つつけてみよう きつづきの商売 | ①② | ①本の分類とならべ方 | ★ ★ | |
| | | 図書館たんていだん 国語辞典を使おう 漢字の広場① 春のくらし | | ②本のひみつ | | |
| | | 漢字の音と調 もつと知りた、友だちのこと 「コラム」きちんとつたえるために | | ③(2年)「類語辞典」 | | |
| | 5 | 漢字の広場② 言葉で遊ぼう こまを楽しく 「じょうほう」全体と中心 | ④⑤ | ④「引用」とは? | | |
| | | 気もちをこめて「来てください」 漢字の広場③ まいごのかき | | ⑤出典・奥付 | | |
| | | 俳句を楽しもう こそあど言葉を使いこなそう 「じょうほう」引用するとき | | ⑥シンキングツールとは? | | |
| | 6 | 仕事のくふう、見つけたよ 「コラム」符号など | ⑥⑦⑧ | ⑥シンキングツールとは? | | |
| | | 夏のくらし | | ⑦イメージマップを 使ってみよう | | |
| | | はじめて知ったことを知らせよう 鳥になったきょうりゅうの絵 わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる 山小屋で三日間すごすなら | | ⑧メモの取り方(上級編) | | |
| | 9 | ホスターを読もう へんとつくり ローマ字 | ⑧⑨ | ⑧メモの取り方(上級編) | ★ | |
| | | ちいちゃんのかげおくり 落節語を使って書こう 秋のくらし はんで意見をまとめよう | | ⑨「読む」本と「調べる」本 | | |
| | | 漢字の広場④ すがたをかえる大豆 「じょうほう」科学読み物での調べ方 食べ物のひみつを教えます ことわざ・故事成語 | | ⑩目次ってなんだろう? | | |
| | 下 | 11 | 漢字の意味 短歌を楽しもう 漢字の広場⑤ 三年どうげ | ⑩⑪⑫ | ⑩目次ってなんだろう? | |
| | | | たから島のほづげん 冬のくらし 詩のくふうを楽しもう カンジーはかせの音調かるた | | ⑪目次と索引ってどうちがう? | |
| | | | 漢字の広場⑥ ありの行列 | | ⑫「ベン図」を使ってみよう | |
| | | 12 | つたわる言葉で表そう これがわたしのお気に入り コンピュータのローマ字入力 | ⑬⑭⑮ | ⑬「ベン図」を使ってみよう | |
| | | | わたしたちの学校じまん モチモチの木 | | ⑭図書館で調べる手順 | |
| | | | ⑮目次と索引ってどうちがう? | | | |
| 1 | | 漢字の広場⑦ ありの行列 | ⑮⑯⑰ | ⑮目次と索引ってどうちがう? | ★ | |
| | | つたわる言葉で表そう これがわたしのお気に入り コンピュータのローマ字入力 | | ⑯図書館で調べる手順 | | |
| | | わたしたちの学校じまん モチモチの木 | | ⑰テーマを決める | | |
| 2 | | 漢字の広場⑧ ありの行列 | ⑰⑱⑲ | ⑰テーマを決める | | |
| | | つたわる言葉で表そう これがわたしのお気に入り コンピュータのローマ字入力 | | ⑱目次と索引ってどうちがう? | | |
| | | わたしたちの学校じまん モチモチの木 | | ⑲本のひみつ | | |
| 3 | 漢字の広場⑨ ありの行列 | ⑲⑳㉑ | ⑲本のひみつ | | | |
| | つたわる言葉で表そう これがわたしのお気に入り コンピュータのローマ字入力 | | ⑳本のひみつ | | | |
| | わたしたちの学校じまん モチモチの木 | | ㉑ものの分け方、くらべ方 | | | |



③目次と索引って「ベン図」をどうちがう? 使ってみよう!

～目次と索引を使いわけ～

★ 3年⑩目次と索引ってどうち...

「ベン図」を使ってみよう!

～シンキン～

★ 3年⑫ベン図を使ってみよう...

キャッチコピーってなんだろう?

～

★ 3年⑬キャッチコピーってな...

調べる手順

～図書館でなにかを調べたいとき、この順番をまもると上手に調べられるよ～

★ 3年⑮図書館で調べる手順★...

テーマを決める

～じぶんが知りたい～

★ 3年⑰テーマを決める★「知...

ものの分け方、くらべ方

～どんな見方～

★ 3年⑲ものの分け方、くらべ...

図書館の本の分類とならび方

～図書～

★ 3年⑰本の分類とならび方★...

本のひみつ

～

★ 3年⑲本のひみつ★「図書館た...

類語辞典

～にたいみのほかの書～

★ 3年⑳「類語辞典」★(2年下...

情報センターとしてののはじめの一步

- ★その学習、活動に必要な情報活用能力を見極め、
どこ（誰）が、いつ、どう授けるか考え実行する
- ★GIGAスクール時代の情報活用能力を、
早急に洗い出し、着実に上乗せする
- ★学校の中では見えにくい様々なものを、
（今は使えずとも）広く見せておく

さて、
これらを現場で
実際に機能させる主体は
いったい誰でしょう？

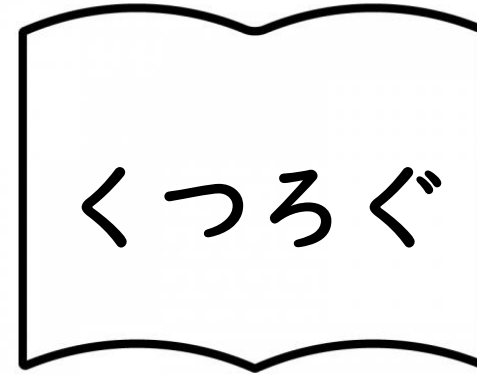
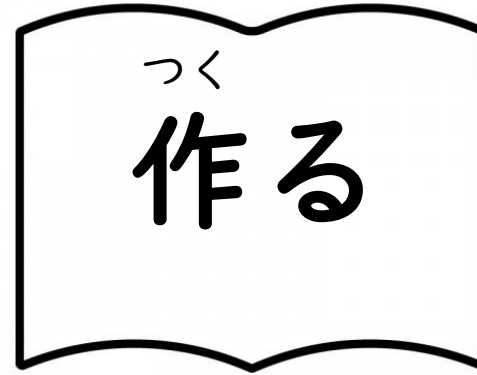
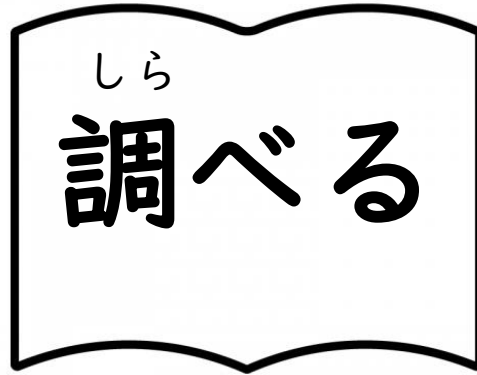
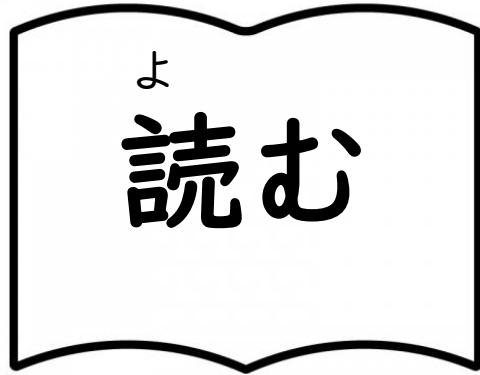
④新・学校図書館考

～子どもたちの一番身近な図書館として～

今の最先端は10年後の時代遅れ

- ・ 図書館「**像**」(公共も学校も)のアップデート
- ・ 時代に必要な「**教育**」と「**教育観**」
- ・ 子ども達が社会に出る「**未来**」を見通す

図書館は、なにをするところ？



学校図書館の担い手として

全・児童生徒が自力で使える

図書館として

「図書館」たり得るために、

「図書館」とは？